

平成 27 年度各会計予算

概 要	2 ～ 3
総括質疑・委員長報告・討論	4 ～ 8
こんなことが決まりました	9 ～ 14
条例の制定・改正など	
一 般 質 問	15 ～ 19
議会活動日誌	20



3月定例会 平成27年度予算 一般会計ほか5特別会計を可決 宮農・子育て支援、健幸長寿のまち、協働・防災のまち

平成27年第1回議会定例会は、3月3日から10日までの8日間を会期として開催されました。

平成27年度一般会計ほか5特別会計予算は、総括質疑を行った後、議員全員による特別委員会を設置し、審査を行いました。

提出された38議案と1発議案を質疑の後、可決しました。一般質問は、5議員が行い町政の課題を問いました。

予算編成方針

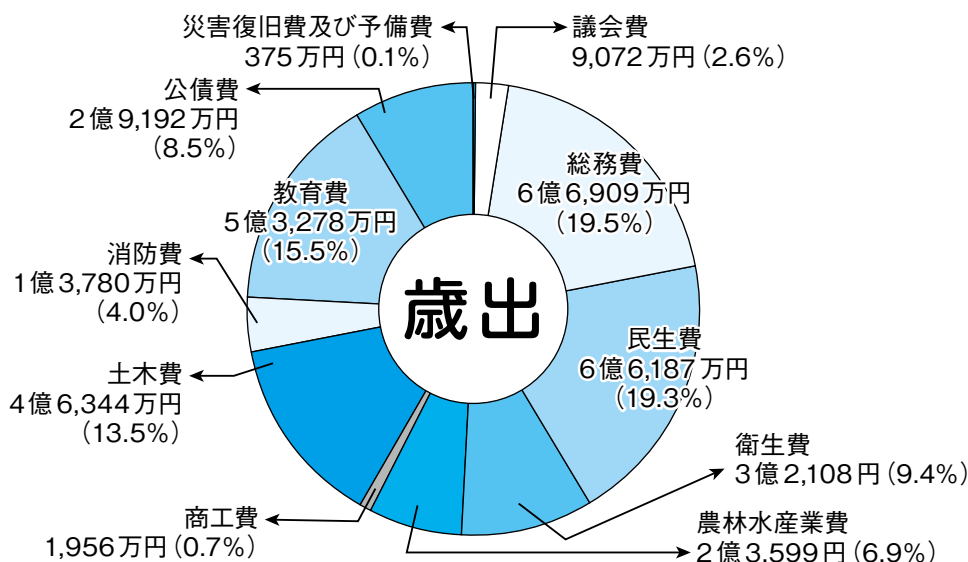
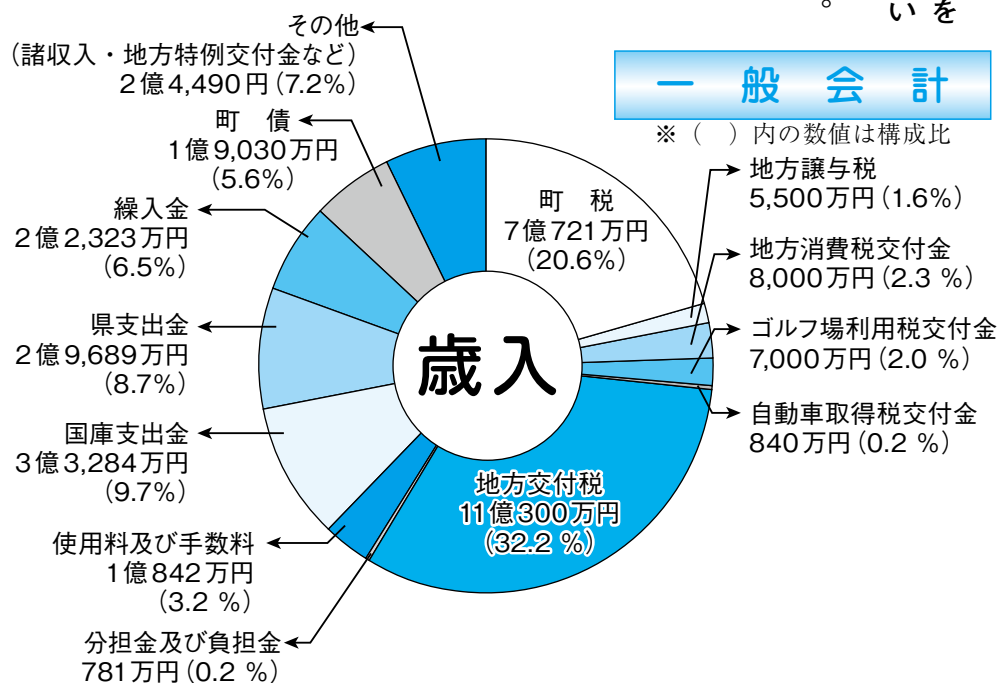
社会保障関連経費やストックマネジメント（公共施設の長寿命化）などの財政需要が大きくなるなかで、後年の負担に配慮しつつ、財源措置のある有利な地方債の活用を行うなど、健全な財政維持を念頭に置いて選択と集中により、住民の理解と協力が得られるよう検討精査し編成しました。

主なものは基幹産業である農業への宮農支援、子育て支援の充実、健幸長寿のまちづくり、協働・防災のまちづくりです。

34億2,800万円でスタート

一般会計

※ () 内の数値は構成比



特 別 会 計

国民健康保険特別会計

11 億 8,689 万円

特定健康診査の受診率向上、健康保持と疾病の早期発見・早期治療を目指し医療給付の適正化を図る。

農業集落排水事業特別会計

8,949 万円

農業集落排水の管理費、既設浄化槽の管理費及びパークサイドタウン分を含む合併浄化槽の新規設置。

介護保険特別会計

7 億 8,641 万円

一般介護予防事業や地域包括支援センターでの総合相談、出張予防教室の地域開催など、介護予防の充実を図る。

かずさ有機センター特別会計

1,953 万円

ふん尿処理、たい肥の製造・機械器具、施設維持管理費、臨時雇上賃金、燃料費、自動車借上料など。

後期高齢者医療特別会計

7,451 万円

後期高齢者広域連合納付金、保険料徴収経費、人間ドック補助金など。



営農支援
町の農業を抜本的に見直し、次代を見据えた新たな営農環境を確立、農業活性化推進基金を活用し、集落営農組織の設立や施設整備及び農地の効率的な活用を推進。

一般会計歳出の主な内容

子育て支援の充実

学校と連携し基礎学力向上、外国語指導助手の招致や中学生海外交流事業を通して国際理解教育の推進、パークサイドタウンの分譲開始。

健康長寿のまちづくり

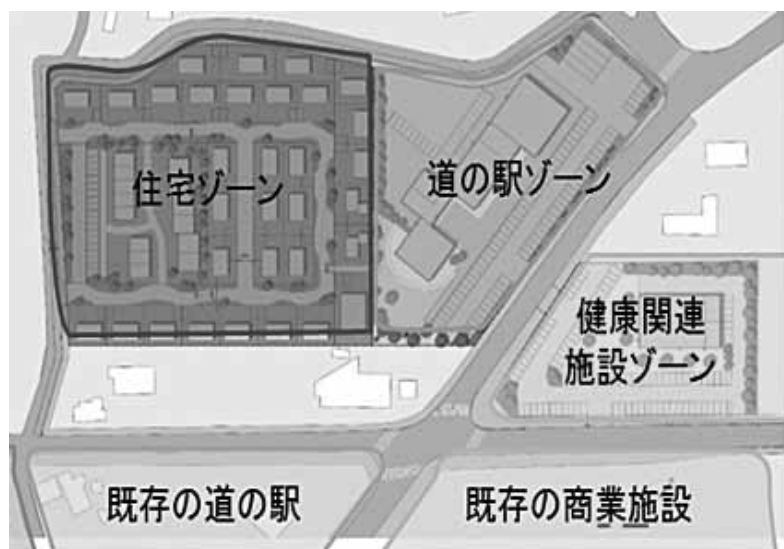
個別検診の導入、地区健康運動教室の実施、ウエストへス塾の夜間教室新設、健康むつざわロードレース大会の実施、健康歩行コースに案内標識を設置、地域再生・健康のまちづくり計画の推進。

協働・防災のまちづくり

町と自主防災組織を主体とした防災訓練の継続と高齢者等の安否確認の体制づくり、地区懇談会の実施、むつざわスマートウェルネスタウン構想の推進。

その他

町道上市場関戸線の道路改良工事、地籍調査事業は妙楽寺Ⅰ地区、むつみニュータウンの汚水処理施設修繕工事にかかる詳細設計、やすらぎの森のトイレ新設と駐車場の整備等。



※イメージ図であり、今後、変更があります。

一 般 会 計

総 務

疑

岡澤宏一議員 シルバー人材センターへの業務委託の内容等は。

総務課長 臨時職員で対応していた公民館バス運転手、学校用務員、草刈り作業等です。

質

バスの運転手は、経験者を採用します。

議員 地域活性化住民提案事業は 4 年目だが、どう活性化が図られているか。

政策企画担当主幹 地域に根付いたコミュニティとして活動し、町の PR や地域活性化に寄与していると考えます。

総



拡幅進む上市場県道

田邊明佳議員 シルバー人材センターに業務委託を拡大するそうだが、道の駅では予告なく派遣が来なくなり、また後任も派遣しない人材センターでは業務の効率化・経費の削減にならないのではないか。

町長 シルバーの運営自体は社会福祉協議会ですが、問題が出ないように、協議したなかで進めていきます。

市原時夫議員 シルバー人材センターへの公民館バス委託だが、町民の命を預かる運転について臨時的・短期的・軽易な就業を目的とする団体に任せて良いのか。

町長 人命に関わることでありますので、十分に関わっていききたいと考えています。

議員 山元町への職員派遣は終わったが、震災を風化させないためにも交流の場を設けるべきでは。

町長 山元町は全国から受け入れをしていますので、負担にならない形で交流したいと思います。

たいと思います。

田中憲一議員 庁内の体制として、事務の効率化に向け、必要に応じて各課・班を超えたグループ制の導入を行うそうだが、考えられるデメリットは。

副町長 グループ制を始めて 1 年ですが、現段階ではありません。今後も協議を重ねてよりよい方向に持っていくきます。

清野彰議員 グループ制の導入で効果が出て、仕事量も増え残業も多くなると思うが、その予算措置はあるのか。

副町長 残業への予算措置は、ありません。職員のスキルアップにもつながり、人事評価で考えたいと思います。

財 政

田邊明佳議員 パークサイドタウンの土地分譲に伴う収入は全額計上してあるが、27 年度で売り切れるのか。

町長 全部売り尽くすよう全力で取り組みます。

市原時夫議員 今予算は細かいところを削り大企業誘

致型のところへつぎ込むような、地域密着型とはいえない流れになる危険性があるのでは。

町長 税収が減少傾向にあること、健全財政を踏まえながら進めていく必要があることからこのような方向性で進めてまいります。

今関澄男議員 教育施設等の老朽化に対する今後の取り組みは。

総務課長 一挙に整備はできないことから 27・28 年にかけて公共施設の総合管理計画の策定に着手します。

議員 地域再生計画の策定の財源確保に向けた具体的なターゲットは。

政策企画担当主幹 地域再生計画を策定したなかで国交省・農水省とは別の所管の補助事業を獲得したいという考えです。

議員 スマートウェルネスタウンのほかに具体的な取り組みはあるか。

主幹 上市場の地域活性化、健康のまちづくり計画に揭げてあるもの、あるいは重点施策で掲げている農業が考えられると思います。



造成中のパークサイドタウン

議員 予算増額要因の一つに土地改良施設の維持管理適正化事業があるが、対象施設が多く出てくると思うが。

生活環境・地域整備担当主幹 施設等の管理状況を見ながら地元の要望に応じていきたいと思っています。

幸治孝明議員 予算総額が前年比 10% 以上伸びているが、積極財政が続くと、一般財源も乏しくなる心配があると思うが。

町長 選択と集中というところで、一般財源をいくらか持つていたらいいかを中心に考えています。

教 育

田邊明佳議員 長南町では四校の小学校が一枚になるそうだが。

睦沢町では二校だが、子供の少人数教育による弊害と住民福祉の公平性に問題があるのでは。

町長 任期中については多様な意見を集約しながら方向性を探ってまいりたいと思います。

議員 町がこれ以上負担にならないのであればいいが、学校給食は親子方式、臨時職員の配置も町単独費で計上している。統合すべきでは。

町長 統合をするしないでなく、今は検討中ということとでよろしく願います。

田中憲一議員 瑞沢小の複式学級回避のために臨時教諭の配置があるが、土睦小では30数名を一人の教員が授業している。平等性が補えているのか。

こども園長 土睦小学校では県費で少人数加配ということで教職員が追加で入っております。個人差に応じ

たきめ細やかな教育が狙いです。

議員 小学校統合については任期中には、結論を出さないとのことだが。

町長 十分勉強させていただき、住民に提案しながら選択できる形をつくっていきます。

市原裕一議員 メジャーな人を迎えてイベントをやるのでもいいが、子供たちに自分に合うスポーツを教えることも必要では。

教育課長 総合運動公園や学校でも様々な活動を行っており、全体でスポーツ振興に取り組んでいます。

地域振興

市原時夫議員 地場産業の活用、新しい商品の開発が大事であるが、町に根付いた地場商品という視点が必要では。

町長 新しいものも当然ですが、古いものも大事に両方求めている所存です。

荻野新衛議員 スマートウェルネスタウンが国交省の認定を受け、特典もあるだろうが、自信はあるのか。

町長 睦沢町にも就業の場が必要ということも含めて、当然自信を持って進めております。

議員 産業建設常任委員長から議長を通じ提言していることについて、反映されていないようだが、協議しているのか。

町長 当然、担当課から要求があるものについては、考慮しながら予算化しています。

議員 里山の問題と耕作放棄地の問題をどう考えているのか。

町長 耕作放棄地の問題は、地域の環境を守る、農業を守るという意味で、集落営農を立ち上げて解決し、里山の問題については、地域再生計画の中で取り入れています。



里山間伐材再利用

健康福祉

田邊明佳議員 ロードレース大会は町外の参加者が多くみられるが、町民の健康のためでなく広告宣伝事業なのでは。

中学生の参加もはかばかしくないようだが見直しは。

教育課長 町の健康づくり支援と町のPRという側面があります。町民が参加しやすいプログラムにする等、調整していきたいと考えています。

幸治孝明議員 集団検診に加えて個別検診を導入するところがあるが。

国保健康担当主幹 結核・肺がん、肝炎ウイルスと前立腺がん、歯科検診が、医療機関で都合のいい日に受けられます。

国民健康保険

特別会計

市原時夫議員 今年度から保険者支援金が、全国的に1千664億円というが、どこに反映しているのか。

国保健康担当主幹 国から

の通知が1月であったので、新年度予算には反映されていません。

農業集落排水

事業特別会計

市原時夫議員 合併浄化槽が年間20基という数だが、意気込みは。

生活環境・地域整備担当主幹 個人の家の新築、増改築に合わせていますが、それ以上になるよう頑張っています。

介護保険特別会計

市原時夫議員 総合事業への移行を2年延ばすということだが、要支援の部分を外し、それに代わる地域支援事業に移行させる場合の提供事業者確保の問題など、危機感を持って臨んでほしいが。

町長 担当課に2年後ではなく、この3月末までに基本方針を定めるよう指示しています。

疑

議員 現在要支援者でサービスを受けている方を対象から外さないことと、要介護認定を受ける場合の手続など緩和措置が必要ではないか。

町長 2 年後には、国の制度に移行されますので、それに向かっての指示をしています。

質

今関澄男議員 27 年度に新たに特養施設が設置され、本町の施設入所待機者が緩和されると思うが、規模は。健康福祉課長 床数は 50 床、シヨートステイ 10 床、合わせて 60 床です。

括

議員 本町優先で、対応を考えているのか。

町長 その方向で進みたいと思います。

総

幸治孝明議員 施設の工事進捗状況と雇い入れの枠で地元優先があるか。

町長 入札の関係で少し遅れ、10 月頃のオープンという事です。地元の食材、地元の雇用を優先にと、十分伝えてあります。

かずさ有機センター特別会計

市原時夫議員 酪農家の 3 年・5 年・10 年後の戸数、頭数がどうなっていくのか。

また乳製品のバター化など付加価値をつける営農策は検討されているか。

地域振興課長 個々の酪農家の状況が、それぞれ違う

ので、減少していった場合には、他町村の酪農家を入れていくような方向も検討してまいります。

乳製品への取り組みまでは、特に踏み込んでおられません。

町長 酪農だけでなく、養豚、養鶏もありますので処理ができないものか、多様なたい肥を生産することも視野に入れた方がいいのかとも思います。

荻野新衛議員 人件費の件だが、職員を一宮町・陸沢町でどのくらい使っているのか。

また両町の職員を使う場合、この特別会計のなかで、それは適正なのか。

地域振興課長 人数は、本



建設進む特養施設

後期高齢者医療特別会計

市原時夫議員 保険事業費の予算額が前年度と全く同じだが。

国保健康担当主幹 当初予算時の計上は、このような形となります。

平成 27 年予算審査特別委員会審査結果報告

委員の構成

議員全員による特別委員会

委員長 中村義徳
副委員長 麻生安夫
副委員長 幸治孝明
副委員長 今関澄男

審査の結果

慎重審査の結果、平成 27 年度陸沢町一般会計ほか 5 特別会計予算は、それぞれ原案の通り可決することに決定しました。

指摘要望事項

一、行政改革に積極的に取り組まれていることは評価するものの、さらに事務事業の集中と選択により、住民ニーズを踏まえ

幸治孝明議員 特別徴収と普通徴収の金額の比率と、滞納についてどうなっているのか。

国保健康担当主幹 特別徴収率が 75% で普通徴収率が 25% の比率です。保険料の滞納はありません。

た施策への投資の重点化と、自主財源のより一層の確保・充実などに取り組み、効果的かつ効率的な行政運営に努められたい。

一、集落営農実現に向け、地域のリーダー育成や基金の充実を図り、陸沢町農業の新たな基盤づくりに取り組むとともに、農業のブランド化や地場産品の 6 次産業化の推進に努められたい。

一、町民の意向を的確に捉え教育行政に反映するとともに、学校・家庭・地域社会の連携を図り、教育委員会と町部局が協力し、関係施策の強化を図るよう努められたい。

一般会計

反対討論

市原時夫議員

「道の駅」新設はやむを得ないが、採算の見通しが確定しないまま企業の資金と経営を当てにして産業基盤整備を行うのは町民の暮らしの側面から強引ではないかといわざるを得ない。

一方で昨年突然議案に提案された学校給食の民営化は食育の推進という立場はなく、業務の効率化と経費の削減を進めようとしている。公民館バスの運転業務をシルバー人材センターへ委託する理由も同様の考え

であり安全に対して町が責任を負うべきものと考ええる。また予算化されたストックマネジメントは公共施設の老朽化を口実に取り壊しへの誘導さえ含む住民福祉サービス削減の危険性を持ったものを導入しようとしている。

健康ロードレース大会への著名人招致は反対ではないが経費支出が適切か疑問である。

町長の若者定住や住民参加型などの積極的な姿勢と行動力は評価する。しかし身の丈に合った町と地域の自主的努力に依拠した町政への推進を求め反対です。



賛成討論

田中憲一議員

町の基幹産業である農業については「陸沢町農業活性化推進事業補助金交付要綱」が制定され今後各地区での積極的な取り組みが期待される。

ふるさと納税の寄附金へのお礼品として、むつざわ米が関心を集め、おいしいと評価を得てきている。寄附件数の増加とともに農業の発展を望む。

子育て支援の充実については、特別支援教育支援員や講師の配置、アフタース



長寿命化工事後の川瀬橋

クルの開設など学習環境を保持する取り組みも積極的に推進している。

健康長寿のまちづくりは、町内外に周知され町民の意識の中に根付いてきており、町民が具体的継続的に実践する段階にきている。それを後押しするため保健指導事業、健康づくり推進事業の果たす役割は大きく継続的取り組みを望む。

協働防災まちづくりは防災訓練、避難訓練の実施により町民の意識も受動的から自主的なものへ変わってきている。各地域の自主防

災組織が資機材の充実とともに強固なものとなるよう望む。

陸沢スマートウエルネス構想への取り組みは今後のまち発展の大きな役割を担う。十分な検討を行い実施計画が策定されるようお願い賛成です。

反対討論

市原時夫議員

国民健康保険 特別会計

陸沢町が独自に町民の負担軽減や、サービス提供で軽減充実を図ることができない数少ない会計の一つである。一方で全県一本化の流れが進んでおり町の権限が縮小されようとしている。こうしたなか、自治体によつては国の保険者支援金制度を活用して国保税引き下げを行っているところも出てきている。

国保会計の激変が進むなか住民負担への軽減に応える予算編成にすべきであり反対です。

討



論

賛成討論

幸治孝明議員

国民健康保険は国民皆保険の根幹をなすものであり、後期高齢者医療制度とともに社会保障の役割を担い日々充実が図られてきた。

一般会計からの法定外の繰り入れを行わず基金確保もなされ高齢化率が34%を超えるなか、安心して暮らせる生活に大きく寄与している。

今後も健康長寿のまちづくりを推進し、歩くことを基本とした体力増進により町民の健康寿命を延ばし、合わせて安定した国民健康保険の運営をお願いし賛成です。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

要支援者の訪問介護、デイサービスを紹介保険から外すという介護保険成立の趣旨さえ無視した制度改悪のなか、猶予期限をずらすという点では苦肉の策とはいえ評価する。しかし、その後のサービス提供者の確保見通しも含めた点では、見通しもない。介護保険サービスの充実に向け国や県への予算や体制措置への要求も含め、サービス充実、負担軽減を求め反対です。

賛成討論

幸治正雄議員

要支援、要介護認定者が増加しているなかで、介護給付費も増加傾向にある。

高齢化が進むなかで、地域支援事業の減額がみられるものの、介護予防教室が一部地区で実施されており、町内各地域で開催されるよう望む。地域の人が顔を合わせ、話を交わし、健康長寿のまちづくりをさらに推し進めることが重要である。まちの特性を生かしながら介護保険事業が安定的に運営されることを期待し賛成です。

後期高齢者

医療特別会計

反対討論

市原時夫議員

もともと高齢者医療として年齢で医療負担サービスに差別する制度そのものが大問題である。

全県一本というある意味では事務事業を二重化したにもかかわらず、事業量の拡大に伴う財政措置を市町

賛成討論

今関澄男議員

超高齢化社会を展望した医療保険制度を実現するため平成20年に施行し、今日に至っている。被保険者は



寺崎区コミュニティセンター

村に求め、予算作成に間に合わないなど、その制度そのものの問題も浮上している。

こうした予算編成は、医療、福祉サービスの充実にならない。このことを指摘し反対です。

54市町村合わせ65万人を超えた。

保険料軽減措置を見直し、所得の少ない者にかかる保険料率の見直しを検討されており、また基本健診の質の向上や人間ドックの事業の充実など、順調に運営されている。

本会計は町が行う業務に関連した特別会計である。被保険者の健康を守り、安心して医療が受けられる予算が計上されており本予算に賛成です。

条例の制定・改正など

(議案第1号)

陸沢町特別職報酬等審議会設置条例を廃止する条例の制定

近年特別職の給与は郡町村会等で審議され、また行政改革に伴う委員会の統廃合を進める観点から廃止するものです。

質疑

市原時夫議員 報酬等は町独自の権限と思うが問題ないか。

町長 特に問題ないと考えます。

(議案第2号)

町長の給料の特例に関する条例及び町長等の給料の特例に関する条例を廃止する条例の制定

町長等の特別職の給与の特例は町の厳しい財政状況を勘案し期限を定めた条例を制定し給与を減額してきましたが、特例の期限が過ぎており廃止するものです。

質疑

市原時夫議員 条例の整理と理解してよいのか。

町長 その通りです。

(議案第3号)

陸沢町青少年問題協議会設置条例を廃止する条例の制定

行政改革に伴う委員会の統廃合を進める観点から陸沢町青少年問題協議会を廃止し、社会を明るくする運動陸沢町推進委員会での対応をお願いするものです。

質疑

市原時夫議員 今後のこともあり青少年問題について「社会を明るくする運動」に任せるだけでいいのか。さまざまな複合的な組織があるのか。

町長 教育委員会に総合教育会議を設けます。また更生保護女性会という組織もあり対応を考えています。

(議案第4号)

陸沢町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の制定

「指定介護予防支援等にかかる基準」が厚生労働省から市町村の条例で定めることになり、国の基準どおり運用することを定めるものです。

質疑

市原時夫議員 町の独自権限といったものはあるか。

健康福祉課長 国に準ずるものです。

(議案第5号)

陸沢町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の制定

議案第4号と同様、市町村の条例で定めることになったためです。

質疑

市原時夫議員 陸沢町は現在、基準通りの体制にあるのか。

健康福祉課長 基準が2名のところ本町は、保健師・社会福祉士・主任介護専門員の3名体制です。

(議案第6号)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い議会委員会条例ほか4条例の一部改正を行うもの

です。

質疑

市原時夫議員 教育長と教育委員長の本体化で教育委員会の独立性に制約がかかり、独自性が損なわれることを危惧するが。

町長 教育委員会と執行者側が協議を重ね、住民の意図するところを十分くみ取れる方策をもって、よりよい方向に進められればと考えます。



こんなことが決まりました

(議案第7号)

教育長の勤務時間その他の勤務条件の制定

特別職となる教育長は、具体的な事務執行を行う職責等から常勤となり、勤務時間内の職務専念義務が課されます。そのための勤務時間の特定、職務に専念すべき時間を明確にするものです。

(議案第8号)

教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定

特別職となる教育長は、地方公務員法の服務に関する規定が適用されなくなることから、職務専念義務の免除については条例で規定するものです。

(議案第9号)

陸沢町立幼保連携型認定こども園条例の制定

市町村が地域の子どもの幼児教育、保育、子育て支援の必要性を把握し、そのニーズに応じた教育または保育の提供及び給付・事業を行うことが義務付けられ、

就学前の子ども一人ひとりの家庭の形態や保護者の就

労の時間帯等により、利用時間を選べることなど、より生活実態に即した利用が可能となります。また従来からの一時預かりや親子どうしの交流の場としての事業及び育児相談などの充実を図り、育児不安の解消に努めるものです。

質疑

市原時夫議員 国の制度によると、保育使用料が引き上げになる。町としての対応は。

こども園長 負担の軽減を考えると人数の多い階層で影響が少ないように配慮しました。全体で1割ほど減となります。

(議案第10号)

陸沢町行政手続条例の一部を改正する条例の制定

行政手続法の改正に伴い、町の行政手続条例でも、行政手続法に沿った運用を行わなければならないこととされていることから、同様の改正をするものです。



健康福祉課

質疑

市原時夫議員 住民が行政指導を求めた場合の費用負担や、複雑な手続きが必要となり、やりにくくなることはないか。

総務課長 申請書類等書類の提出が義務付けられますが、特に複雑なものはありません。

(議案第11号)

特別職で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

月額、年額で規定されている委員の報酬を日割り計算により算定する規定を追加するものです。

また行政改革に伴う委員会等の統廃合を進めるなかで、公民館運営審議会ほか、この3月末で廃止見込みである委員会や審議会も別表から削るよう合わせて改正するものです。

(議案第12号)

陸沢町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定

(議案第13号)

陸沢町教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定

(議案第14号)

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する

条例の制定

人事院勧告並びに千葉県人事委員会の給与等に関する報告及び勧告に基づき、特別職の職員及び教育長の給与並びに一般職の給与条例の改正を行うものです。

一般職職員の給料は月額の引き下げ、単身赴任手当の引き上げ及び再任用職員への適用、管理職員特別勤務手当の範囲の拡充です。

質疑

市原時夫議員 給与引き下げの影響を受ける階層世代はどのくらいいるか。

総務課長 主事補から課長まで対象職員数は80人です。ただし、現給保障があるため最終的に32人です。
議員 公務員は全体の奉仕者として役割に準じた形で給与を保障すべきと思うが。

町長 同感です。制度上国県に準じていますが、ラスパイレース指数が100に近づくようにすることで職員の士気向上、意識の向上につなげていきたいと考えます。

こんなことが決まりました



マニアスプレッダー

(議案第15号)

陸沢町手数料条例の一部を改正する条例の制定

引用している法律名を「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に改めるものです。

また新たに「地籍調査成果等の交付手数料」を追加するものです。

(議案第16号)

陸沢町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

(議案第17号)

陸沢ゆうあい館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

(議案第18号)

陸沢町立歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

行政改革に伴う委員会等の統廃合を進めるなかで、各審議会等を廃止し、社会教育委員会において、その役割を担うこととするものです。

(議案第19号)

陸沢町介護保険条例の一部を改正する条例の制定

今後3年間の保険料の基準額を月額4千400円から5千100円に、負担額を6段階から9段階に改正するものです。

(議案第20号)

陸沢町ポイ捨て行為の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定

行政改革に伴う委員会等の統廃合を進めるなかで、不法投棄監視員の活動と重複することから、環境美化推進員設置の規定部分を削除するものです。

(議案第21号)

陸沢町農村広場等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定

寺崎やすらぎの家取り壊しに伴い条例から削除するものです。

(議案第22号)

契約の締結

かずさ有機センターのマニアスプレッダー等の購入。681万7千円で文平産業(株)岬営業所との契約を締結することとしました。納入期限は平成27年3月27日です。

質疑

市原時夫議員 性能、耐久性をどのように検討したのか。

地域振興課長 現在使用しているものと機種、性能は同等です。

議員 多種のものと比較はしたのか。

課長 操作性を考慮して現在と同じものを選定しました。

幸治正雄議員 現在危険なたい肥の積み込みをしているが、安全な方法はないのか。

地域振興課長 今の方法が一番良いと考えます。

今関澄男議員 全般的な見直し計画・整備計画を樹立して一日も早く対応を考えるべきでは。

地域振興課長 次回の有機センターの運営協議会までには、整備計画を作成して対応します。

田邊明佳議員 9月補正したものが今になった経緯は。

地域振興課長 事務の執行に問題があり適正な事務が行われなかったものです。

議員 農業に力を入れていくといっているがこの状態では、そうは思えないが。

課長 職員の指導・監督が足りず、十分反省しております。

(議案第23号)

権利の放棄及びこれに伴う和解

土地賃借人死亡により賃借料の放棄と建物を町負担で取り壊すことで和解しようとするものです。

補正予算・その他

(議案第24号)

平成26年度陸沢町一般会計補正予算(第6号)

5千572万円を追加し、補正後の予算額は35億284万1千円となりました。

歳入では、分担金及び負担金、国県支出金の加減、繰越金の加減、町の特譲地及び土地の払い下げ収入を追加、ふるさと納税を追加しました。

歳出では、経済対策による地域住民生活等緊急支援のための交付金事業、各種基金への積立、福祉タクシー関連費用の追加、プレミアム付き商品券の発行にかかる費用を追加しました。富貴楽橋の橋梁維持工事及びパークサイドタウンの造成工事費用を追加しました。

環境保全型農業直接支払い事業にかかる補助金を追加しました。

質疑

市原時夫議員 再生エネルギー導入の補助金の減額理由は。

政策企画担当主幹 執行残です。

議員 プレミアム付き商品券は具体的に何か。

地域振興課長 国からの地域住民生活等緊急支援交付金で、1万円の額面で4千円の付加価値をつけることで検討しています。

議員 波及効果のある内容にすべきと思うが、効果はあるのか。

課長 細部については、商工会と詰めていきます。また、購入できる店舗は、町内と考えています。

議員 住まいの耐震化はどういう手をとっているのか。

生活環境・地域整備担当主幹 説明会や広報等でPRしています。

今関澄男議員 交付金の補正内容は。

総務課長 地場産品を活用

した商品開発への補助金、プレミアム付き商品券事業の補助金等です。

議員 ふるさと納税はどのように使われるのか。

課長 経費を除き、教育や福祉などに使わせていただきます。

田中憲一議員 プレミアム商品券について、町民に対して平等性の確保はどう考えているのか。

地域振興課長 国と県の考え方の基準に合わせて、進めてまいります。

議員 プレミアム商品券は、学校の給食費や納税にも使えるのか。

課長 町の商店で使っている。ただくことを基準にしています。

荻野新衛議員 教育総務費で費用弁償が減額になっているが。

教育課長 会議が減った分減額させていただきました。

議員 教育委員会の今後の取り組みは。

教育長 学校等問題調査検討委員会からの意見書を委員会のなかで精査して、優先順位をつけて取り組んで

まいります。

田邊明佳議員 路線バス促進事業助成金減の内容は。

政策企画担当主幹 現在の実績見込みで減額しました。

議員 内容の見直し等が必要ではないか。

主幹 状況を見ながら制度の見直し等考えてまいります。

幸治孝明議員 町税、固定資産税が増額補正になっているが理由は。 **税務住民課長** 法人税が安

定してきたことによるものです。固定資産税は、年度途中で更正等を行った結果です。

議員 浄化槽関連、有害鳥獣の補助金が減額になっているが理由は。

生活環境・地域整備担当主幹 浄化槽5基に対して実績4基となり1基分減額しました。有害鳥獣は、金網柵の設置距離が短くなったため減額となったものです。



プレミアム商品券

こんなことが決まりました



出張介護予防教室 (佐貫)

(議案第25号)

平成26年度睦沢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

8千297万円を追加し、補正後の予算額は11億2千191万9千円となりました。主なものとして平成26年度事業の実績見込み及び前年度の精算によるものです。

質疑

市原時夫議員 一般被保険者高額療養費の補正の割合が多いが予想を超えたものがあったのか。

国保健康担当主幹 一般入

院費が増えたことにより、高額医療費も増額となりました。

議員 予想できなかったのか。

主幹 過去3年間の医療給付費を見て当初予算を組みましたが今年度後半で増えました。

議員 健診関係の委託料の減額だが指導業務委託料も減らしているのは当初予定していた回数を減らしたのか。

主幹 当初、委託で考えていましたが、職員で対応した関係で減額となりました。

(議案第26号)

平成26年度睦沢町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

1千240万9千円を減額し、補正後の予算額は5千975万4千円となりました。

歳入は合併浄化槽の新規設置数が見込みより少なかったことにより分担金及び負担金、国庫支出金、県支出金をそれぞれ減額。町債は各事業の実績見込みにより650万円減額しました。

歳出は特定生活排水処理事業費で1千230万円を事業の実績見込みにより減額しました。

質疑

市原時夫議員 予算計上されたものが、実態となるといつも半分ほどだが。

なかなか進まない現状があるが、アピール等考えてはどうか。

生活環境・地域整備担当主幹 広報等でもPRしておりますが、個人の都合により左右されます。今後PR方法も工夫していきます。

(議案第27号)

平成26年度睦沢町介護保険特別会計補正予算(第2号)

583万円を減額し、補正後の予算額は7億1千504万1千円となりました。

歳入の保険料は収入見込みにより増額、一般会計繰入金は実績見込みにより減額、基金繰入金は介護給付費準備基金を取り崩し増額しました。

歳出は保険給付費で居宅介護サービスが増額となったものの施設介護サービス、地域支援事業は減額しました。

質疑

市原時夫議員 施設介護



サービスが減り居宅が増えているが実態は。

健康福祉課長 居宅介護サービス費は伸びており、国の方針等もあると思います。施設サービスは人数に変わりはなく、そのサービスの内容等によりです。

議員 老老介護、介護疲れなど危惧されるなか、実態に沿って居宅か施設かを詳しく分析をして介護保険本来のあり方にすべきでは。

健康福祉課長 27年度から法制度も変わっていきます。施行につきましては2年を猶予期間として地域包括ケアシステムの構築に十分努めて行きたいと思っています。

こんなことが決まりました

(議案第 28 号)

平成 26 年度かずさ有機センター特別会計補正予算 (第 2 号)

22 万 1 千円を追加し、補正後の予算額を 3 千 682 万 7 千円となりました。

歳入は繰越金の追加、歳出は基金への積立金です。

質疑

市原時夫議員 酪農家の減少があるなかで加入対象の

見直しの考えはあるか。また施設等を含めた有効かつ総合的な見直しをすべきでは。

地域振興課長

酪農家の減少によつては今後、近隣市町村と協議し、近隣の酪農家を取り込んでいきたいと思っています。そのような状況も踏まえ、有効的な活用、将来的な計画を踏まえたなかでの運営に努めてまいりたいと考えます。

睦沢町議会改革特別委員会調査結果報告

調査結果

(1) 議員定数等について過去の経緯などを含め、幅広い視点で積極的な議論を重ねました。これらをふまえ、4 つの案に集約され、採決の結果、いずれの案も半数を超えるものがなく、方向性を示すにいたらなかった。よつて、議員定数等に関する協議は終結とした。

採決結果

第 1 案、定数を現状維持とする。 5 人
第 2 案、定数を現状維持と

し、報酬を減とする 1 人
第 3 案、定数を減とする。

第 4 案、定数を減とし、報酬を上げる。 2 人

(2) 議会定例会ごとに行っている、広域議会等の会議報告については、その内容の協議や意見交換を行い、議員相互の理解、情報共有が行えるよう、6 月議会から、議員全体会議にて行う。

(3) 議案等の評決の方法は、6 月議会から起立とすることにした。

(議案第 29 号)

平成 26 年度睦沢町後高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)

107 万円を減額し、補正後の予算額は 7 千 445 万 8 千円となりました。

歳入は保険料の実績見込みによる減額、繰越金の追加です。歳出は広域連合納付金の減額、諸支出金は一般会計繰出金の追加です。

質疑

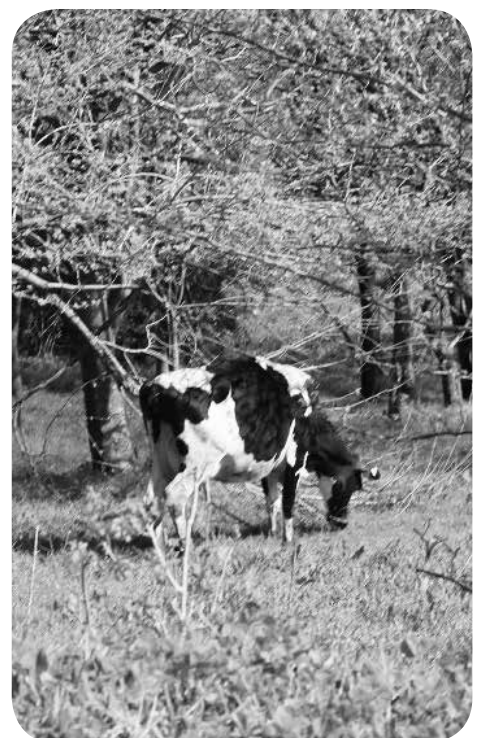
市原時夫議員 保険事業費において財源更正を行った理由は。

国保健康担当主幹 去年まで人間ドックについては全額、広域連合から交付されていましたが、今年度は 46 市町村で実施したため財源を更正させていただきました。

(議案第 36 号)

長生郡市広域市町村圏組合規約の一部改正する規約の制定に関する協議

長生郡市広域市町村圏組合では、教育委員会を設置し、視聴覚センターの設置



及び管理に関することを共同処理しています。今回の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、規約の条文を改正することに、議会の同意を得るものです。

(議案第 37 号)

固定資産評価審査委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 睦沢町大上
氏名 3383 番地 17 佐藤 勝善氏

(議案第 38 号)

固定資産評価審査委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 睦沢町佐貫
氏名 4041 番地 村松 恒雄氏

(議案第 1 号)

議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

議員はその職について当月分から、また任期満了によりその職を離れたときは、その当月分までの報酬を支給することになっていますが、これをその月の在職する日数を基礎とした、日割り計算により算定する規定を追加するものです。

一般質問

荻野 新衛 議員

血液によるガン検診で健康長寿

町長 国が進める検診で対応



長生病院

町民が健康で長生きするには、ガンをやっつけるのも一つの方法と思う。ガン検診の受診率が低いなかで血液によるガンのリスク判定は一つの方法と提案した。長生病院の広報紙には、この検査を掲載し院長も一定の効果があるというなかで、低コストででき

町政の課題を問う

る良い方法と思う。前立腺のガン検診は血液検査であり、大腸ガンは腫瘍から出血しないといわれない。

町が県下に先駆けて町民の健康を守るんだという姿勢が欲しい。長生病院の院長と相談のことであったが、その結果について伺いたい。

人は宝・生涯教育に活力を

総合教育会議を設置

議員 人は宝と考えている。資源のない日本が世界のなかで確たる地位を保っているのは寺子屋に始まる教育とっているが、生涯教育を通しての町おこし、町の活力をアップする考え方について伺いたい。

町長 今後の教育へのかわりのなかから、住民の皆さんの意見を伺いながら町おこしにつながる糸口を模索します。

教育長 新年度から総合教育会議を設置することになりますので、このなかで町部局とも十分検討し陸沢の良さをアピールできるように考えます。

指摘要望事項

1、陸沢町農業活性化推進事業について

各地において説明会、座談会等が行われ、大谷木・北山田地区においては、準備委員会を経て、去る1月に大北営農組合が設立されたことは評価できることである。今後、大北営農組合の活動が他地区での設立に向けたモデルケースになるよう期待する。

また、懇談会や設立準備委員会に行政が積極的にかかわりを持ったことも成果につながった。さらなる集落営農実現に向け、地域のリーダー育成や基金の有効活用により、陸沢町農業の新たな基盤づくりに取り組まれない。

これらの指摘要望事項が、議長を通じて町執行部へ提出された。

産業建設常任委員会

調査結果報告

一般質問

市原 時夫 議員

高校卒業まで医療費無料化を

町長 近隣自治体との均衡を考慮して



NPO 法人 こだま

町の住民意識調査を見て、子育て環境充実では、「子育て家庭に対する経済的支援の推進」がトップになっている。

増税、福祉・医療の負担増、年金収入減、雇用の不安定化などによる格差拡大が子どもにも広がっている。

町長の基本姿勢のなかに、人口減少抑制・若者定住施策があるが、その促進の意味でも、睦沢町の歴史的な子育て支援の伝統という意味でも、高校卒業までの医療費無料化へ拡充して、子育て世代への負担軽減・格差拡大を防ぐべきではないか。

睦沢町と同じような中学

卒業までの医療費無料化は、県内54自治体中43自治体に広がっている。

いすみ市・一宮町・横芝光町などでは、高校生の段階へと拡充している。

千葉県に対する、助成拡大への要望を含めて、町として実施してはどうか。

町長 県内で高校生まで助成している自治体は、6市町あります。

国保会計の県一本化より 国の財政責任を果たさるべき

町民への影響は少ない

議員 国民健康保険制度の財政運営を都道府県に移すことになる方向だが、そのなかには、医療費抑制や入院食費の自己負担増など、医療サービス後退、負担増が含まれている。

国保の財政的なまとめを都道府県が行い、事実上、市町村が行う国保税など徴収状況の監視役となるのではないか。

住民の医療要求に応えるには、この間、国が減らし続けてきた国庫負担分を元

千葉県も入院については、中学3年まで助成を拡大しています。

睦沢町は、現物給付で自己負担もありません。

高校3年までの拡充については、長生郡市の医師会長から、郡市の均衡ある形がやっとできたとの話もあり、近隣市町村との均衡を失しないようにしながら判断します。

に戻し、市町村の国保財政を支えることではないか。

町長 都道府県中心の国保運営では、千葉県が国保運営方針を作成し、市町村の標準保険料率等を設定します。そのほか保険給付費の支払いなどを行い、市町村は資格管理、保険料率の決定、賦課徴収、保険給付、保険事業を行います。

この制度での町民の負担への影響は少ないと思います。

住宅リフォーム 助成の継続を

平成27年度は予算を増額

議員 住宅リフォーム助成の継続については、昨年も求めていたが、広報むつざわ3月号で、27年度の実施が示された。

これまでも要望が多く、補正予算で対応してきたが、実績と経済効果は。また次年度も継続すべきではないか。

町長 27年度までの3年間の国庫補助事業を活用し、25年度は17件、26年度見込みは30件で、経済効果は、148倍と推測されます。

さらなる充実については、27年度予算を増額し要望に対応できるよう進めます。その後は、国の助成等の動向も見ながら検討します。



一般質問

幸治 孝明 議員

瑞沢小と土睦小の
統合を進めるべきでは

町長 任期中は考えていません

昨年11月に睦沢町学校等問題調査検討委員会から教育委員会あてに意見書が提出されている。そこには小学校で近い将来複式学級になること、学級編成で単学級が増えることから児童に最もふさわしい教育環境での学校経営ができるよう、瑞沢小学校と土睦小学校を再編することが望ましいとある。

今現在、教育委員会において再編についての検討状況はどうか。

教育長 学校の再編検討は様々な要素が絡む難しい問題です。まずは児童生徒の教育条件の改善を中心に学校教育の目的や目標を、よりよく実現するよう教育内容や指導方法も十分勘案します。現在と将来にわたり学級数や児童生徒数の中で具体的な教育的課題を精査分析し、保護者や地域住民の十分なご理解とご協力が得られるよう丁寧に進めます。

議員 仮に統合するにしても地元の見解を聞くなど最終結論が出るまでには多く

入学式
(瑞沢小学校)

の手順がかかる。再編に進むとして、そこにいたるスケジュールはどうなっているか。

教育長 再編のスケジュールは学校等問題調査検討委員会の意見を参考に町の財政計画や条件整備等、課題が多面的にわたることから教育委員会にある教育協議会で鋭意検討を進めています。

議員 町長の考えはどうか。
町長 任期中は住民の皆様の見解を聞き、子供たちにとってよりよい教育環境は何かについて十分な検討を重ねたいと考えます。

小中学校の耐用年数の問題を含め財政状況の考慮等、結論ありきではなく子供たちを考え、各方面からの検討をしていることをご理解いただければと思います。

教育委員会が変わるといって

教育委員長がなくなり教育長が代表に

議員 文部科学省が60年ぶりに公立小中学校の統廃合の基準を見直したというが。

教育長 本年1月公立小中学校の適正規模・適正配置に関する手引きが出されました。一定規模以下の学校について速やかに統廃合を含め対策を講じるよう求められています。

議員 法律改正に伴い、教育委員長と教育長を一本化するとあるが、これまでとの違いは。

教育長 新しい教育長は常勤の特別職となります。教育委員会は教育長と4名の

教育委員で構成し、教育長は教育委員会を代表することになります。

また、教育長は町長が議会の同意を得て任命し、任期は3年です。教育行政に対する権限と責任が明確化します。

議員 新たに総合教育会議を設置するとあるが。

教育長 町長が招集し町長と教育委員会で構成する会議で教育にかかわる大綱の策定や教育環境の整備、児童生徒の生命および身体等の保護や緊急の措置を講じる等の案件が生じた時に協議を行います。



瑞沢小学校



土睦小学校

一般質問

清野 彰 議員

空き地の環境対策を急げ

町長 条例を整備していきます

町内には、投資等で買われた土地や住む計画がなくなり空き地となっている土地が多く見受けられる。

これらの空き地は、定期的に草等が刈られることがないため、放置され雑草地化しているのが現状である。

このような空き地は、環境面から見ると、花粉症の原因になることや有害鳥獣のすみかになりやすい。そして枯れ草火災が発生しやすい等大きな問題がある。

また、空き家についても、同様に敷地内の草等が刈られることがないため空き地と同様の問題がある。

環境を良くするためにも、地域と行政が連携して取り組まなければならないと考えるが、町の対応は。

町長 町独自に条例を整備し、適正な管理がされるよう進めてまいります。

議員 地域住民を先導できる仕組みがほしいと思うが。

町長 近隣住民が困っている場合について、条例をつくり、条例のできる範囲内で取り組んではどうかと考えています。

空き家対策の取り組みは

国の法整備に対応します

議員 全国の空き家は、10軒に1軒が空き家になっていくという報道があった。町内を見ると、高齢化が進み病气などで居住地を町外に移動するケースが多くなっており、町を離れることが余儀なくされている。空き家は、長期間放置すると老朽化が進み、住めない状態になる。環境面から近隣の住民に不安を与えている。

近年、都会のIT企業の若い人たちが、田舎で仕事をするケースが全国的に増えていることから有効活用できるのでは。環境が良く



なり若い人が増える可能性が大きいと考えるが町の考えは。

町長 昨年、11月の臨時国会において、空き家等対策の推進に関する特例措置法が可決され、政令で定めるとなっています。国の法整備に合わせて対応できるように進めてまいります。

議員 都会の人はリフォームを自分たちでやりたいから貸してほしい、買いたいという話があるが。

町長 空き家バンク制度による有効活用を推進しているところですよ。

企業誘致の積極的な取り組みを

十分検討し、対応します

議員 企業誘致については、若者定住や町の発展のため、以前から多くの町民が期待をしている。しかし、企業誘致するには、企業に合った立地条件が必要になって



町有地(佐買)

くる。土地の確保からエネルギーの確保まで条件を整えるまでには投資と長期にわたる実務が必要になってくる。景気が回復傾向にあるなか、町の特徴を生かした誘致に積極的に取り組むチャンスかと思うが考えは。

町長 若者が定住するため施策として、スマートウエルネスタウン計画を推進してまいります。

議員 千葉大でも学生が林業に力を入れたいという話もあり、小さな起業家として考えられるのではないかと。町長 身の丈にあった形で実施していきます。また、佐貫地区に大きな面積がありますので、視野に入れて進めていきます。

一般質問

田邊 明佳 議員

新たな道の駅の拡充・整備に向けた問題点への取り組みは

町長 危機感を持ち、国の大きな力を借りながら



新たな道の駅の拡充・整備に向け、町は様々な施策をとっていくと思うが、現在の道の駅では高齢化・後継者不足、生産者自身の意欲減退等の問題が顕在化しつつある。野菜の品不足によりお客様に十分に商品が行き渡らない現状、切り花等は出荷者の廃棄等により圧倒的な品物不足になっており、直売所へのダメージとなっている。

また6次産業化の先駆けとなっていたグルーブの解散により飾り寿司等の田舎ならではの商品も姿を消し、こういった設備投資のいる

ものは4年後の道の駅の運営等がはつきりしていない以上、経営側は生産者に無責任に事業投資を勧められない。

現状は、片手間に畑作をしている生産者が多く、新たな道の駅ができたからといって大量に商品を出すとは考えにくい。新たな道の駅が良いか悪いかではなく、拡充に対応できる状況にない。直売部門は道の駅の核と位置づけられると思うが、その基礎部分を強化する取り組みはどうするのか。

町長 地元の野菜が少なくということとは長年の懸案であり、新たな道の駅を成功させるためにも状況を改善することが急務です。つどいの郷むつざわの生産組合で組織される野菜部会の方々にご意見を伺い、参考にしてまいります。

議員 一つの事業で農業を活性化していくのも難しく、また、中途半端に大風呂敷を広げても何年かは物珍しさでお客様は来るかもしれないが、中身がしっかりとっていないと早い段階で

道の駅が苦境に立たされることも考えられる。運営が民間でも道筋を立てて環境を整えていくのは町の役目ではないか。

町長 農家については、常に新しい取り組みを模索していくべきと思っています。今後も危機感を持って取り組み、国の大きな力を借りながら進めていきたいと思っています。

農家へわかりにくい制度の解説を

各区長や実行組合長を通じて

議員 米価下落の中、経営所得安定対策等交付金や補助金で息をついている農家

も多いと思うが、より高額の受け取りをできるように説明や解説をすべきでは。

26年産米ではどちらの場合でもさして違いがないような試算もあった。経営規模や売り方の問題もあるの

で一概にはいえないが、より安定的な農業経営を目指すために個々の努力はもちろんだが、町がわかりにくい制度の解説や説明をして、その上で農家が選択し、

役立てる事も大切かと思うが。

町長 農家の方には各区長や地区の実行組合長を通じて制度の説明をさせていただいております。今後も機会をいただいたなかで周知等を図ってまいりたいと思います。

しかし、農業経営については行政指導だけでなく、各農家の積極的な取り組みが不可欠であると考えております。現在でも意欲のある方は直接担当課にお問い合わせいただいております。



玉前神社 (長楽寺)

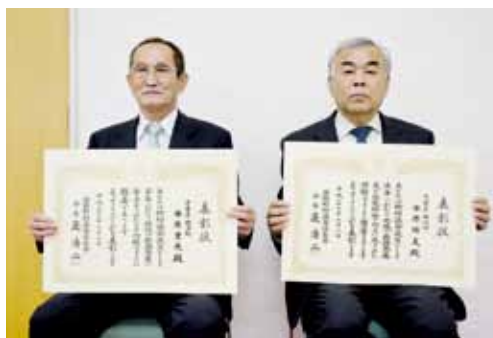
議会活動日誌

月 日			行 事 内 容		月 日			行 事 内 容	
2 月	4 日	議会だより編集特別委員会（9 日）	3 月	11 日	睦沢中学校卒業式	4 月	5 日	五区観桜会	
	5 日	長生郡監査委員連絡協議会視察研修		17 日	健康づくり推進協議会		7 日	睦沢中学校入学式	
	8 日	睦沢町青少年相談員連絡協議会新年会		17 日	行政改革推進委員会議		8 日	瑞沢・土睦小学校入学式	
	9 日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会		18 日	瑞沢・土睦小学校卒業式		8 日	議会だより編集特別委員会（～ 14 日）	
	10 日	長生郡市広域市町村圏組合議会定例会		19 日	農業委員会総会		11 日	こども園入園式	
	11 日	白子町・長南町 60 周年記念式典		20 日	こども園卒園式		14 日	商工会青年部通常総会	
	11 日	建国祭		24 日	例月出納検査		18 日	青少年相談員連絡協議会総会	
	12 日	長生郡市広域市町村圏組合議会常任委員会		26 日	J A 長生第 39 回通常総代会		20 日	農業委員会総会	
	16 日	農業再生協議会協議会総会		27 日	議会だより編集特別委員会		20 日	例月出納検査	
	18 日	千葉県町村議会議長会定例会		29 日	つどいの郷むつざわ道の駅まつり		24 日	議会だより編集特別委員会	
	18 日	かずさ有機センター運営協議会			26 日	健幸むつざわロードレース大会役員会			
	19 日	議会運営委員会、全協、全体、議会改革							
	20 日	九十九里地域水道企業団理事会							
	20 日	農業委員会総会							
	20 日	長生郡市広域市町村圏組合議会常任委員会							
24 日	長生郡市広域市町村圏組合議会定例会								
24 日	例月出納検査								
26 日	一宮聖苑組合議会								
27 日	睦沢町農業経営・生産対策推進会議								
27 日	老人クラブ大会								
3 月	3 日	第 1 回議会定例会（10 日まで）							

議会を傍聴しませんか

第 2 回 (6 月) 定例会は
6 月 12 日 (金) から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局 44-2510 へ
お問い合わせください。



このほど市原時夫議員が、
在職 27 年以上、市原重光議
員が、在職 15 年以上で自治
功労者表彰を全国議長会か
ら受けました。

**2 議員が自治
功労者表彰**



A・S

編集は、長時間にわたる
議場でのやり取りを、分か
りやすく短文にまとめるこ
とが重要です。しかし、限
られた編集のスペースから
言葉が短すぎて発言者の意
図が良く分からない、伝わ
らないというお話を聞いて
います。今後は、委員会の
課題として議論を重ね、よ
り良い議会だよりを目指し
たいと思います。

平成 24 年 1 月から担当
してまいりました議会だよ
り編集委員も今年度で最後
の年となりました。
最初の編集会議を思い
出しますと、初めて聞く言
葉が多く戸惑うこともあり
ましたが、回数を重ねるご
とに委員長や先輩委員から
丁寧な説明や指導をいただ
き、理解を深めてくること
ができました。

編集後記